

## SSH科学講演会 「最先端医療への道のり」

～岡山大学呼吸器外科准教授・臓器移植医療センター肺移植チーフ～大藤剛宏先生

日程：平成27年2月9日（土）12:30～15:00

場所：岡山理科大学24号館理大ホール 座談会：校長室

肺移植の第一人者である岡山大学大藤先生に、肺移植の現状と将来の展望を講演していただきました。お話の中で、臓器提供者の肺が保管されているクーラーボックスに遺族の方が「しっかり生きるんだぞ」と語りかける場面があり、会場は涙に包まれました。命のリレーの最前線におられる先生の言葉の重みを感じることができた感動的な講演でした。

## 講演会



生徒達に向けては、勉強は大切だがそれだけでじゃダメ！  
未来の自分のためにすべきことと題して

- ・ 社交性 学園生活
- ・ チームワーク 部活動
- ・ 指先の器用さ 趣味
- ・ 忍耐力 部活動・受験勉強
- ・ 海外留学 常に世界レベルで考える意識

「興味を持ったなら何でもやってみよう。その経験が自分の財産となります」と熱く私達に語りかけてくださいました。視野を広く持ち、なんでもチャレンジすることが自分の将来に繋がるだけでなく、技術の進歩にも繋がるのがよくわかりました。

## 座談会

座談会で、我々の質問・疑問にお答え頂く機会を得ました。その中で、手術中に想定外のことが起こってしまった時に、先生はどうされますかという質問に対して先生は「まずはあわてないために大きく深呼吸をして落ち着き、次は現状の事態に対応できる自分のこれまでの経験や得た知識を引き出しから探し出し対処していきます。」と答えていただきました。「大切なのはいかに多くの引き出しを作るかということです。勉強だけでなく、趣味や部活、読書などとにかく多くの情報や知識を身に着け視野を広げていくことが成功のカギとなります。」先生は最初から肺移植を目指されたわけではなく、いろいろな症例をこなされた結果多くの引き出しを持つことができたので、『まわり道は近道』と色紙に書いてくださいました。また「手術は当然ながらチームが一丸となっていく、リーダーは決してあわてずチームをまとめ成功に導く役割を持っています。」こうした連携と整然とした行動で手術を成功させたとき、先生は最高にワクワクされるそうです。



## 生徒の感想

- ・ 絶望的状况の中でも挑戦することの大切さを知った。
- ・ 教科書の勉強だけでなく、社交性、チームワーク、忍耐、心的強度、世界レベルでの思考や行動というファクターも身に付け、なりたい自分になれるよう頑張りたい。
- ・ 臓器提供を待つ多くの方がいる中で、「生きる」ことの素晴らしさを実感し、誇りを持ちたい。
- ・ 医療の最前線のリアルな話を聴くことができ、人の命の重さに気づかされる講演だった。
- ・ 先生の講演で、部活も勉強も将来につながるんだと分かった。
- ・ 世界初の肺移植に成功したことは、困難といわれていることにも可能性があるということを実感した。